



《無題》1961年頃 個人蔵



第10回具体美術展会場にて(自作の前で) 1961年



アトリエにて(白髪一雄の制作を手伝う)1960年

無限へのつながりの、

自分が一点であることへの心からなる求め、祈り。

アクション・ペインター白髪一雄の妻・富士子の歩みを回顧する展覧会を開催します。白髪富士子(旧姓 植村)は、1928年に大阪市南区順慶町通(現・中央区南船場)で時計店を営む商家に生まれました。高校卒業後の1948年、20歳の時に3歳年上で京都市立美術専門学校の卒業を間近に控えた白髪一雄と結婚し、翌年に長男を出産します。子育てをしながら白髪の絵画制作を間近に見るうちに、自身も創作に目覚めて作品制作を始めました。1955年に白髪とともに前衛美術グループ「具体美術協会(具体)」に入会すると、具体美術展や芦屋市展を発表の場として本格的に制作発表を行います。富士子は和紙やガラスなど繊細な素材を作品に用いて注目を集めました。

しかし、白髪一雄の評価が高まり多忙となったことから、富士子は1961年に自らの創作活動に終止符を打ち「具体」を退会。以降は自身の創作活動を一切行わず、白髪のアクション・ペインティングを補助し、長きにわたり二人三脚で制作に励みました。2008年に白髪が亡



《無題》1957年頃 個人蔵



《無題》1955年頃 個人蔵

くなってからは静かな余生を過ごし、2015年に86歳で亡くなりました。

白髪富士子の研ぎ澄まされた感性は、残された数少ない作品からもうかがい知ることができ、近年その評価は高まっています。数年間ではありましたが、前衛美術家として才能を発揮した白髪富士子の貴重な作品と、白髪一雄の作品を合わせて、二人の歩みを紹介します。

トークイベント

「前衛美術家・白髪富士子の再評価」

戦後美術における女性アーティストの文脈から、白髪富士子についてお話を伺います。

講師：池上裕子氏(大阪大学大学院人文学研究科 教授)

日時：2026年2月15日(日) 14:00～15:30

場所：尼崎市総合文化センター 7階会議室

定員：60名、先着定員に達し次第、受付を締め切ります。

要申込、参加無料(ただし当日券が必要です)

申込方法 下記のQRコードから専用フォームにアクセスしてください。
お電話で申し込みもできます。申込期間(2026年2月13日まで)
(公財)尼崎市文化振興財団 美術担当(受付時間10:00～17:00)
Tel. 06-6487-0806 / Fax. 06-6482-3503

図録『白髪一雄 行為にこそ総てをかけて』販売中



生誕100年を記念して2024年に開催された特別展の公式図録を販売しています。白髪の生涯にわたる活動の軌跡と豊富な作品図版と資料、年譜を収めた白髪総論にふさわしい1冊です。4,400円(税込)

展示解説

担当学芸員による展示作品の解説を行います。

日時：2025年12月7日(日)、2026年3月22日(日)いずれも14:00～(約30分)

場所：白髪一雄記念室

定員：各日10名 参加費：無料(ただし当日券が必要です)

申込み不要(当日、直接会場へお越しください。)

休館のお知らせ

尼崎市総合文化センターは耐震化工事のため、令和8年(2026年)4月1日から長期休館します。その間、白髪一雄記念室も休館しますのでご了承ください。休館期間は約5年間を予定していますが休館中もお問合せ等には対応させていただきます。今後の予定は決まり次第、ホームページ等で随時お知らせします。

Access



- 阪神尼崎駅より
立体遊歩道で徒歩約5分(国道2号沿い)
- JR尼崎駅より
阪神バス(尼崎市内線)⑨→
阪神尼崎行「尼崎総合文化センター」下車すぐ
- 阪急塚本駅より
阪神バス(尼崎市内線)⑨→「昭和通」下車徒歩約5分
阪急バス⑤→「尼崎総合文化センター」下車すぐ
※阪神バスは尼崎市内線
- 有料駐車場あり
(30分200円/1日最大1,000円・普通車)

阪神電車特急で
「神戸三宮」から
22分

「大阪梅田」から
7分

「大阪難波」から
20分

白髪一雄記念室 | www.archaic.or.jp/shiraga/

